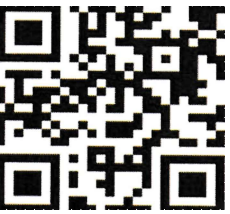


たかさご新聞

発行
高砂大学校同窓会
会長 泉屋和雄
〒920-0901
金沢市彦三町1-15-5
金沢中央公民館2F
TEL (076) 261-8101
FAX (076) 261-8149
(HP) <http://www.takasagoob.net>



QRコードで
ホームページ

輝く未来へステップアップ

活発な1年のスタート「新春のつどい」

1月14日（水）、金沢駅前ホテルで「新春のつどい」が開催されました。村山市長を来賓にお迎えし、約140名が顔を揃えた会場は、艶やかな着物姿や弾けるような笑顔に彩られ、新年を祝う熱気に包まれました。

乾杯後は、楽しく元気な一年を目指し、健康の秘訣や今年の抱負を語り合うなど会話が尽きない時間となりました。

加賀万歳などのアトラクションに続き、全員での「ふるさと」合唱では会場の心が一つになりました。

会場内には輪島朝市から5店舗が出店。買い物を楽しむ参加者の皆さんの笑顔には、被災地へのエールと一日も早い復興への願いが込められていました。

最後は中締めで幕を閉じた今年のつどい。新年の一步を踏み出し、さらに充実した一年を目指しましょう。

野口教育長特別講演会レポート 未知の宇宙への挑戦、人類の未来をひらく

1月21日（水）、金沢市の野口教育長による特別講演会が開催され、70名が受講しました。教育長はJAXA（宇宙航空研究開発機構）に携わった経歴を持ち、その豊富な経験から、宇宙の魅力や夢を語りました。

教育プラザ富樫にある「月の石」

かつてアポロ計画で月面に降り立ったのは6回で、12人が月の上を歩いています。アポロ15号が採取してきた本物の「月の石」が、「教育プラザ富樫」に展示されています。

現在、月の石と並んで注目しているのが、日本の探査機「はやぶさ2」の功績です。初代「はやぶさ」はイトカワから目に見えないほどの微粒子を持ち帰るのが精一杯でしたが、「はやぶさ2」は小惑星「リュウグウ」で見事なタッチダウンを成功させました。「リュウグウ」は、太陽系が誕生した頃の水を多く含む小惑星です。その中には、生命の起源に繋がる有機物や水が含まれていると考えられています。令和10年3月に予定されている「銀河の里ギョウ」のリニューアルでは、これらの微粒子も展示され、宇宙の神秘に触れる日が楽しみです。

月を拠点に火星、そして未知の惑星へ

人類は再び月を目指しています。月にある「水」を電気分解して水素と酸素を作り、呼吸の酸素以外に、それをロケットの燃料にする計画が進んでいます。月を中継基地（ゲートウェイ）として、次は火星、さらにその先の惑星へと活動範囲を広げようとしています。

なぜ人類は挑み続けるのか。オリオン座のベテルギウス（赤く輝く星）や私たちの太陽にも「寿命」がある。

り、いつかは爆発するといふ厳しい現実があります。講演の最後、教育長は天体ショーを紹介しました。2035年9月2日には「皆既日食」が能登を中心に観測でき、2041年10月25日には金沢を含む広い地域で「金環日食」が見られるそうです。

天体ショーの紹介には「健康に留意し、みんなが元気にこの瞬間を迎えましょう」というメッセージが込められていました。

修了生代表の謝辞で語られた、あるエピソードが話題になりました。それは、本紙（たかさご新聞）にも掲載された「看護学生との交流」についてです。臨地教育実習で訪れた20才前後の看護学生たちに自らの人生の物語を語り、彼らがそれを真摯に受け止める。その交流を通じ、「私たちシニア世代には、まだ次代へ伝えるべき役割が多くある」と強く再認識したと述べられました。

高砂大学校の入学すると、人生の仲間と出会えます。あなたも一緒に学びませんか？

同期の強い団結力を宝物に、これからも共に輝かしい、楽しいシニアライフを歩んでいきましょう。さらに今後の活発なクラス会活動を期待しています。

「高砂大学校」に入学すると、人生の仲間と出会えます。あなたも一緒に学びませんか？

仲間と笑顔で語り合い、盛り上がるテーブル席



会場を沸かせた多彩なアトラクション



今回の主な議題は、人気の「秋の日帰り研修旅行」の運営についてです。現在、募集開始後すぐに定員（80名）に達してしまい、参加を希望しながらも叶わない方が多いことが課題となっています。

そこで、より多くの方に公平に参加の機会を広げるため、人気の高いコースを3〜4年の周期で計画的に巡る「定番化」を検討することとなりました。これにより、今回お申し込みいた

ただけでなく、次回の機会を安心して待つことができるようになり、「イベント」として安定的な継続につながります。

誰もが「行ってみよう」と思える魅力的な旅行を目指し、募集方法や内容の改善を進めてまいります。今後の改善にご期待ください。

こうした課題を解決するため、今回の対話では「出演順の抽選制」や、新しい仲間を柔軟に迎える「準会員制度」など、現場の声を反映した具体的なアイデアが提案されました。

大切なのは、関係者が知恵を出し合い、情報を共有することです。

サークル同士が歩調を合

1月16日（金）10時半より高砂大学院の60期の修了式が大研修室で行われました。ご修了おめでとうございます。

338人が高砂大学院修了

村山市長と泉屋同窓会会長から祝辞を頂き、続いて修了生代表より謝辞が有りました。

市長の祝辞を熱心に聞く大学院の修了生

バス旅行を多くの方が楽しめる仕組みへ 第3回クラス会会長会議で改善案を議論

40年の伝統から「より魅力的な同窓会へ」 演芸発表会の公平性や会員減少対策を

1月22日（月）に開催された「第2回グループ代表者懇談会」に、56サークル中、47サークルの代表が集まりました。

40年続く演芸発表会のマシネリ化や、各サークルの担い手不足といった課題は、どのサークルにとっても切実な悩みです。

こうした課題を解決するため、今回の対話では「出演順の抽選制」や、新しい仲間を柔軟に迎える「準会員制度」など、現場の声を反映した具体的なアイデアが提案されました。

大切なのは、関係者が知恵を出し合い、情報を共有することです。

サークル同士が歩調を合

活発な意見交換が行われた クラス長会議の様子

熱心に教育長の講義を聞く受講者

市長の祝辞を熱心に聞く 大学校の修了生

脳も心も若返る「健康麻雀」で仲間づくり
初心者大歓迎 運7割で楽しい時間を

シニア健康麻雀教室

11期2組 真浦 登

当教室は、男性は97歳を筆頭に4名、女性は12名、計16名のメンバーがいます。

麻雀は1名対3名の勝負

で「運が勝敗の7〜8割を左右する」と言われますので、常勝者はなかなかいません。初心者でも勝つチャンスは充分あります。

前回ビリでも今回はトツプという事が多々起ります。ゲーム終了後にささやかな景品で表彰します。

これが次回もがんばろうと励みになります。又、年2回温泉ホテルにて懇親大会も行っています。

老若男女が上がつて喜び、失敗しては自分に怒り哀しみ、約4時間と長いあいあいとコミュニケーションが楽しめます。

シニア健康麻雀教室の活動概要と入会方法のご案内	
健康麻雀の基本ルール	①賭けない、②飲まない、③吸わない、④大声を出さない(3名が麻雀指導)
サークル目的	シニア健康、親睦、脳活に寄与が目的
サークル会長	山田 一男(111期2組)高砂ロードのポスターに連絡先TEL有り
サークル会場	じゃんとびあ
サークル開催日	第1・3・5木曜日13:00~16:00
参加費	1,200円/1回(年会費1,000円)
競技ルール	1ゲーム50分を3回戦
景品(表彰)	上位5名、飛び賞、フービー賞、役満賞
じゃんとびあの会場案内	本多町3丁目10-15押野谷ビル2F MRO会館から尾川に向かって、ローソン前信号から大通り沿いに徒歩10m
入会希望者は、サークル開催日に、直接サークル会場へお越しください。	

ゆつくりとした動きと深い呼吸で
健康づくり 太極拳クラブ入会募集

太極拳クラブ 副会長

107期2組 河内 加代子

私達のクラブは、令和七年十二月で三十周年を迎えました。この間を引き継いで来られた会員の方々に深く感謝するばかりです。

私が入会した十数年前は会員数が136名と大研修室全体を使う程でしたが、

現在はその約半数の七十名が自由な雰囲気の中、のびのびと活動しています。

会員の平均年齢は八十二歳、中には九十歳を超える十数名の方々も。また継続十年以上の方が二〇名以上、

その内五名の方が二十年以上の継続会員で三十周年記念の場で記念品を贈呈しました。

皆さん楽しいおしゃべりと、ゆつくりとした運動で健康寿命を保って

太極拳クラブレッスンのご案内	
レッスン日	毎週火・金曜日10:00~12:00
レッスン場所	彦三館大研修室、他

脳の活性化や指の運動による老化現象予防、そして健康麻雀のマナーとスキルを磨いています。

昔よくつまんで遊んだ方や初心者の方、気楽に楽しませませんか。

ルールを知らなくても大丈夫。まずは見学から始めてみませんか？



熱心に卓を囲むみなさん

オーケストラ・アンサンブル金沢
弦楽四重奏コンサート開催

去る1月26日(月)、彦三館大研修室において、日本が世界に誇る「オーケストラ・アンサンブル金沢」(OEK)のメンバーによる弦楽四重奏コンサートが開催されました。当日は130名もの同窓生が詰めかけ、会場は開演前から熱気に包まれました。

プログラムは、バロック

曲名(作者) 弦楽のための協奏曲ト長調「ア・ラ・ルスティカ」(ヴィヴァルディ)

アリシア(J.S.バッハ) アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章(モーツァルト)

弦楽四重奏曲 第1番二長調作品11より第2楽章「アンダンテ・カンタービレ」(チャイコフスキー)

地上の星(中島みゆき) 見上げてごらん、夜の星を(いずみたく)

ふるさと(アンコール)

時代のヴィヴァルディやバッハの荘厳な音色から始まり、モーツァルトの軽快なメロディ、そして中島みゆきの『地上の星』や『見上げてごらん、夜の星を』といった親しみやすい名曲まで、時代を追うような構成で披露されました。

アンコールでは『ふるさと』が演奏され、会場全体が温かな一体感に包まれました。

OEKが最も得意とするのはモーツァルトやベートーヴェンといった古典派の楽曲だそうです。

来場者からは「楽器の音が体の芯まで響いてきた」「知っている曲をクラシックの音色で聴けて感動した」といった声が多く聞かれました。OEKの魅力を見つめたい機会となりました。本拠地の「県立音楽堂へも足を運んでほしい」とのことでした。



演奏者(左より) 坂本久仁雄(第1ヴァイオリン) トロイ・ゲギンズ(第2ヴァイオリン) 山本周(ヴィオラ) 大澤明(チェロ)

113期3組 絆深まるランチ忘年会
クラス会活動をいつまでも継続

113期3組 会長 山口 茂範

113期3組は12月23日、金沢駅前本年度3回目となるランチ忘年会を開催しました。まずは長年貢献された亡き友を偲び献杯を捧げ、思い出を語り合いました。

普段はLINEで近況を共有していますが、直接顔を合わせる喜びは格別です。90歳を迎え元気に海外へ赴く仲間や、病を乗り越えた仲間の姿に、互いに大きな勇気をいただきました。

尽きない話題に、2時間半はあっという間に過ぎました。

私たちはこの絆を何よりの宝物として、今後もクラス会活動を絶やさぬよう努力を続けてまいります。

いつまでも健康で集えることを誓い、次回3月のクラス会総会での再会を約束して名残惜しくも散会しました。



会話が盛り上がった113期3組の皆さん

千年の伝統と「無」の心で新春を祝い
煎茶翠会が積極的な行動でスタート

1月8日、煎茶翠会は、恒例の「大福茶会(おおぶくちやかい)」を開催しました。この茶会は、平安時代に村上天皇が疫病を鎮めたことに由来する、千年の歴史を持つ伝統行事です。

神保会長は、「お茶は万病の薬。茶器と向き合い、今この一瞬だけに集中する『無』の心を養うことが大切です」と語り、日々の喧騒を離れた精神修養の意義を強調されました。

また、会場が温かな笑顔に包まれたのが「健康の秘訣」を巡る話題です。「教養・教育」という言葉に、「今日、用事があること(今日用)」、「今日、行く場所があること(今日行)」

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。

参加者は無病息災を祈り、飛躍を誓って、清々しい新年のスタートを切りました。



新たな一年への飛躍を誓いました

俳句・短歌

石路句会

災禍経て今年も海女の髪結ぶ
今年の抱負心にそつと秘め
晴れ渡る空の向こうに初山河
旧友とふる里ことば初山河
玲瓏に響け笛の音初山河

雪椿句会

北風や月と木星接近す
昼飯の手間賃うれし雪囲い
鉦の音聞こえる戸口寒坊主
冬至風呂柚子の浮力を遊びけり

OB短歌会

しよが湯 ゆず茶 紅茶やココア飲み心もポカポカ元気になるぬ
あなたからききたいことはききそこねいそびれていたいたことは
卯辰山はコブラン色に輝いてふもとの橋場は旅人あふる
見る見ぬは成行きまかせそれぞれにテレビ番組チェックする朝
間引き三度追肥に土寄せ大根は緑葉繁りて肩をのぞかず



演芸発表会で演舞を披露したみなさん

以降くじ引きで決めた順番で演奏を披露しました。教室には鏡餅、午年の色紙、加賀手まりなどを飾り新春の雰囲気。第 二教室ではピアノ、キーボードの演奏にこだわらず歌唱、オカリナや草笛も民謡や詩吟も飛び出す楽しいコンサートです。

今年度の演奏曲目は「春よこい」「美しき青き下ナウ」「川の流れるように」「蒼いノクターン」「ムーンリバー」など十八曲。演奏される皆さんは数ヶ月前からこの日のために練習を重ねた成果を出そうと緊張して演奏に臨みます。



演奏を終え、達成感に包まれるらくらくピアノクラブのみなさん

また第二教室の男性で編成する男声ユニット『オイターズ』がらくらくピアノ講師笠間先生の伴奏で「戦争を知らない子供たち」を熱唱しました。



新たな一年への飛躍を誓いました